

No.	プロジェクトの要旨 (団体名)	農業界の代表者 経済界の代表者	実証地	その他の 構成員	連携プロジェクトの内容	担当者 及び連絡先
1	汎用資材の活用による超強化型低コストハウスの開発 (異常気象対応型コンソーシアム)	㈱花いちご 阪和興業㈱	千葉	企業(5社)	建設業界で使用される鉄パイプを活用して、鉄骨ハウス並の強度を有する超強化型パイプハウスを開発し、建設コストを低減。また、ウェアラブル端末を活用し、熟練技術の見える化を行い、人材育成の効率化を図る	吉野 ((株)花いちご) 0470-47-3663
2	鶏舎熱の利用による鶏糞処理コストの削減 (サーマルリサイクルプロジェクト協議会)	JAうすきたまご ファーム㈱ ㈱ハイテム	大分	-	大型鶏舎のみに導入されている鶏舎廃熱を利用した鶏糞処理設備について、中小規模の鶏舎にも対応できるプレートドライヤーを開発・導入することで、鶏糞処理コストを含めた経営費を削減	濱田 (JAうすき たまごファーム (株)) 092-712-5366
3	様々な作業ができる畑作用万能トラクターの導入 (埼玉発最先端ねぎ生産体系構築コンソーシアム)	アルファイノベー ション㈱ ㈱アグリン	埼玉	企業	汎用性の低い専用機械が多い野菜作において、機械メーカーのノウハウ等を活用し、1台で様々な作業(定植溝作り、移植、土寄せ、施肥、収穫等)が可能な万能トラクターを開発・導入し、農機具費の低減と省力化を目指す	原 ((株)アグリ ン) 048-699-2869
4	電解水素水で野菜の収量、機能性を向上させる手法を確立 (電解水素水を活用した還元野菜プロジェクトコン ソーシアム)	㈱農業生産法人南国 スタイル ㈱日本トリム	高知	JA、大 学、地方 自治体	医療分野において、抗酸化性等の機能性に着目されている電解水素水を、施設園芸における灌水等に導入することで、野菜の収量や機能性を高める生産方法を確立し、収益の向上を図る	園林 (高知県農 業振興部) 088-821-4514
5	ビックデータの活用による太陽光型植物工場の環境予 測・最適制御を行い、低コスト化を実現 (統合型環境制御コンソーシアム)	㈱クレオ 岩谷産業㈱	埼玉	大学、そ の他	太陽光型植物工場において、データマイニング(ビックデー タの解析等)の手法を活用し、室内環境値(温度、湿度、CO2) の将来予測に基づく環境制御技術を導入し、生産コストの低減 を図る	市野澤 (NPO 法人植物工場研 究会) 04-7137-8303
6	湿度管理技術と高透湿性フィルムを活用した新たな施 設栽培システムの開発 (日本型施設栽培システムの開発コンソーシアム)	㈱吉川農園 ベジタリア㈱	熊本	企業、地 方自治体	施設園芸において、飽差を活用した湿度等の管理による光合 成の促進、ミネラルセンサーによるデータ計測、透湿性に優 れた新規開発中の高性能フィルムの導入による新たな栽培シ ステムを確立し、低コスト化・収量増を目指す	井上 ((有)吉川 農園) 096-242-4878
7	収益力の高い農業の見える化と効率的な人材育成の実 現 (ソーラーファームポータル実証コンソーシアム)	㈱ファームクラブ ㈱日立システムズ	群馬	企業(2社)	露地野菜について、太陽光パネル下での生産と併せて、遠隔 圃場のモニタリングや栽培映像マニュアル教材の開発等を行 い、管理・人材育成コストの削減を図ることで、収益力の高い 農業と新たな農業人材の創出を目指す	飯田 ((有) ファームクラ ブ) 027-219-3100
8	食品工場の衛生技術の施設園芸への応用による減農薬 栽培技術の普及 (微酸性電解次亜塩素酸水を活用した減農薬栽培コン ソーシアム)	山元和彦 森永乳業㈱	愛知	農業者(4 名)、農 業法人、 地方自治 体	施設園芸(イチゴ、トマト等)において、食品工場で培われ た衛生管理技術を活用し、微酸性電解水を灌水、葉面散布に 使用することで減農薬栽培を実現。これにより、農業費等を含 めた生産コストを削減	中村 (森永乳業 (株)) 046-252-3066
9	ドローンによるセンシング技術を活用した畑作の圃場 管理による品質・収量の向上 (圃場マネジメント高度化プロジェクト)	㈱ホクユウファーム ㈱システムサプライ	北海道	大学(2 校)、研 究機関、 地方自 治体、そ の他	畑作物(小麦、玉葱)において、ドローンによるセンシング 技術、農業機械の自動操舵システム等の活用による可変肥培 管理を行い、品質・収量の向上を目指す	金崎 ((株)シ ステムサプ ライ) 0157-24-2763
10	熟練技術の見える化等によりメロンの養液栽培を実用 化し、品質・収量を向上 (メロン養液栽培による循環型農業の確立コンソーシ アム)	山田 宏 ㈱大和コンピ ューター	静岡	農業者(4 名)、J A、企 業、大 学、地 方自 治体	熟練農業者の栽培データの可視化・分析等を通じて、メロ ンの養液栽培技術の実用化を進めるとともに、高品質化や栽培 回転数の増加を図り、収益の向上を実現する。また、使用済み 養液の肥料化を実証する	田代 ((株)大和 コンピ ュー ター) 072-676-2221
11	公共衛星データ活用した効率的生産管理によるブラン ド米生産の実現 (若あゆと古代ロマンの里うまい米作りコンソーシ アム)	佐藤 勇 有人宇宙システム㈱	山形	企業、地 方自治 体	稲作について、安価な公共衛星データ等を活用した肥培 管理、病虫害の防除、収量予測を行い、効率的な生産管理による 低コスト化、品質及び収量の向上を実現する	小栗 (有人宇宙 システム(株)) 03-3211-2005

参加企業等合計: 農業法人7社、農業者8名、JA3者、
企業22社、大学・研究機関等8者、
地方自治体4道県3市町
合計55者